



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ウィルグループ
代 表 者 名 代表取締役会長 池 田 良 介
(コード番号：6089)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 高 山 智 史
(TEL. 03-6859-8880)

平成 29 年 3 月期業績予想と実績との差異および 剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 7 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期連結業績予想（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）と本日公表の実績において下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成 29 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当について、下記の通り平成 29 年 6 月 21 日開催予定の第 11 回定時株主総会に付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	59,000	1,670	1,680	730	38.95
実 績 値 (B)	60,599	1,963	1,980	1,011	54.23
増減額 (B-A)	1,599	293	300	281	—
増減率 (%)	2.7	17.6	17.9	38.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	45,028	1,429	1,468	692	36.38

(注) 当社は、平成 28 年 12 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。これにより、1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異が発生した理由等

(1) 連結業績予想との差異について

売上高につきましては、主力事業であるセールスアウトソーシング事業、コールセンターアウトソーシング事業、ファクトリーアウトソーシング事業のすべてが順調に推移したことに加え、平成 28 年 2 月に連結子会社化した Oriental Aviation International Pte. Ltd. 及び平成 29 年 1 月に連結子会社化した Ethos Corporation Pty. Ltd. 他 2 社等の業績が好調に

推移したことにより、当初の予想を上回りました。営業利益、経常利益につきましては、売上高の増加に加え、セールスアウトソーシング事業で高収益案件の売上が増加したことにより、当初の予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失として減損損失 154 百万円を計上したものの、経常利益の増加及び所得拡大促進税制の適用や税効果会計等の影響により当初の予想を上回りました。

3. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 29 年 2 月 7 日公表)	前期実績 (平成 28 年 3 月期)
基準日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	14 円	12 円	10 円 (普通配当 5 円) (記念配当 5 円)
配当金総額	257 百万円	—	190 百万円
効力発生日	平成 29 年 6 月 22 日	—	平成 28 年 6 月 22 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 当社は、平成 28 年 12 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。これにより、前期実績については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して記載しております。また、前期実績の年間配当金には、普通配当に加えて当社設立 10 周年の記念配当 5 円が含まれております。

(2) 理由

当社は、株主への利益還元と将来に向けての安定的な事業展開に必要な内部留保の拡充を配当の基本方針としております。具体的には、各期の経営成績の状況等を勘案して平成 32 年 3 月期における総還元性向(※) 30%を目標に、株主の皆様への利益還元を行うこととしております。

前述の通り、当連結会計年度は平成 29 年 2 月 7 日公表の業績予想を上回る結果となりました。この業績結果および上記方針に鑑み、1 株につき 14 円の配当を実施することといたしました。これにより、当連結会計年度の配当性向は 25.8%となります。

(※) 総還元性向：純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率

以 上